

貸借対照表の自己査定の具体例

税法や会計とまったく違う自己査定の内容！

下記の表は、ある会社から銀行に提出された貸借対照表です。
これを見ると自己資本額（純資産の部合計）は、4,000 万円のプラスになっているため、財務状態の良い貸借対照表に見えますが、銀行は貸借対照表の資産の中身を換金性や処分可能見込額の観点から自己査定していきます。

< 決算書の貸借対照表 >

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|----------------------|------------------|---------------------|------------------|
| < 流動資産 > | 12,000 万円 | < 流動負債 > | 9,500 万円 |
| 現金及び預金 | 2,000 万円 | 買掛金 | 4,000 万円 |
| 売掛金（取立不能 1,000 万円含む） | 5,000 万円 | 未払金 | 2,000 万円 |
| 商品（販売不能 1,000 万円含む） | 3,000 万円 | 短期借入金 | 2,000 万円 |
| 貸付金（返済の実績なし） | 1,000 万円 | その他の負債 | 1,500 万円 |
| 仮払金（経費分） | 1,000 万円 | < 固定負債 > | 8,000 万円 |
| < 固定資産 > | 8,000 万円 | 長期借入金 | 8,000 万円 |
| 建物等（償却不足 1,000 万円あり） | 5,000 万円 | 【負債の部合計】 | 17,500 万円 |
| 保証金（支店事務所・3 割償却） | 2,000 万円 | 純資産の部 | |
| ゴルフ会員権（取引相場なし） | 1,000 万円 | 資本金 | 3,000 万円 |
| < 繰延資産 > | 1,500 万円 | 繰越利益剰余金 | 1,000 万円 |
| 開発費（償却不足 500 万円あり） | 1,500 万円 | 【純資産の部合計】 | 4,000 万円 |
| 【資産の部合計】 | 21,500 万円 | 【負債・純資産の部合計】 | 21,500 万円 |

自己資本額

< 自己査定の内容 >

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 売掛金 | 取立不能売掛金は換金性がないため、1,000 万円を減額 |
| 商品 | 販売不能商品は換金性がないため、1,000 万円を減額 |
| 貸付金 | 返済の実績がないため、1,000 万円を減額 |
| 仮払金 | 支出済の経費であり換金性がないため、1,000 万円を減額 |
| 建物等 | 過去の減価償却不足額 1,000 万円を減額 |
| 保証金 | 退去時に償却される 600 万円を減額 |
| ゴルフ会員権 | 取引相場のない会員権のため、掛け目 10% で評価（900 万円を減額） |
| 開発費 | 過去の償却不足額 500 万円を減額 |



< 自己査定後の貸借対照表 >

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|-----------------|------------------|---------------------|------------------|
| < 流動資産 > | 8,000 万円 | < 流動負債 > | 9,500 万円 |
| 現金及び預金 | 2,000 万円 | 買掛金 | 4,000 万円 |
| 売掛金 | 4,000 万円 | 未払金 | 2,000 万円 |
| 商品 | 2,000 万円 | 短期借入金 | 2,000 万円 |
| 貸付金 | 0 万円 | その他の負債 | 1,500 万円 |
| 仮払金 | 0 万円 | < 固定負債 > | 8,000 万円 |
| < 固定資産 > | 5,500 万円 | 長期借入金 | 8,000 万円 |
| 建物等 | 4,000 万円 | 【負債の部合計】 | 17,500 万円 |
| 保証金 | 1,400 万円 | 純資産の部 | |
| ゴルフ会員権 | 100 万円 | 資本金 | 3,000 万円 |
| < 繰延資産 > | 1,000 万円 | 繰越利益剰余金 | 6,000 万円 |
| 開発費 | 1,000 万円 | 【純資産の部合計】 | 3,000 万円 |
| 【資産の部合計】 | 14,500 万円 | 【負債・純資産の部合計】 | 14,500 万円 |

貸借対照表の資産の中身を再評価した自己査定後の貸借対照表（上記の表）は、自己資本額（純資産の部合計）が3,000万円のマイナスになり、この状態を債務超過といいます。このような場合、新規の融資は困難だと銀行に判断されます。

銀行は、税務署に提出した決算書の金額を、そのまま見るのではなく、自己査定後の貸借対照表によって、あなたの会社を格付けしていきます。